

一 遊漁の最新Topic 一

Vol.1

～クロソイ稚魚放流 地元・大田区内の中学生も一緒に…！
平成15年11月11日実施～



今年も秋の放流としてクロソイ稚魚の放流を11月11日に実施しました。

7月のカサゴ稚魚放流の時には、地元大田区の小学生が放流に参加しましたが、今回は同じく大田区内のある中学校の1年生（108名）が事業に参加してくれました。

あいにくの天気になってしまいましたが、中学生達はレインコート姿に救命胴衣という格好で、元気にクロソイ稚魚たちを羽田沖に放してくれました♪



放流水域：東京湾羽田沖水域
放流魚：クロソイ稚魚（香川県産）
／人口種苗11,000尾

【作業の流れ】

スタッフから放流に関する説明
↓
稚魚にタグ（標識）を打つ作業を見学
↓
活魚車内の稚魚の観察
↓
水槽内の再捕したカサゴ成魚などを観察
↓
活魚車内の稚魚を放流船へ、バケツリレーにより運ぶ
↓
放流船へグループごとに乗り込み、放流海域へ出船
↓
放流海域へ到着後、合図とともに一斉に稚魚放流
↓
栈橋へ戻り、作業終了

↑ タグ（標識）を打ったカサゴ稚魚



← 羽田空港から離陸した飛行機を背に稚魚を放流

『Topic Vol.5』で放流魚の追跡調査の際に、再捕したクロソイ。中学生達に、自分達が放流する稚魚の成長した姿を知ってもらうため、この日まで組合の水槽で生活してもらいました。そしてまた、後輩・稚魚達の放流と一緒に羽田沖へ戻りました。↓



小学生達とは、また少し違った視点で東京湾で生きる魚たちの事や、自分達にとって身近である海・東京湾を観察できたのではないかと一緒に作業を行いながら感じました。



東京湾遊漁船業協同組合